

竹原市収受
竹第号
02.1.29
年月日
分表番号
備考

資料様式第3号

議長	副議長	局長	局長補佐	係長	属員
					

令和2年年1月28日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 竹橋 和彦



視察・調査場	大阪市東淀川区東中島1-18-22 丸ビル別館
期日	令和2年年1月20日 ~令和2年1月21日
経費	72,120円
参加者氏名	竹橋 和彦
視察・調査的目	率直に語る地方議員に関するお金の考え方 質問方法スキルアップ研修初級編 質問方法スキルアップ研修応用編
内容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	講師 高橋 伸介 <ul style="list-style-type: none"> ・ 政務活動費の改革 ・ 報酬審議会で議論しても横並びのわけ ・ 議員年金をあらためて考える ・ 地雷を踏むな。使途基準の考え方 ・ 財務省にねらわれる議員定数の今後 ・ 質問レベル4段階 ・ 質問する前の注意点 ・ 一般質問と議案質疑の何が違うのか ・ 議案答弁への対応ケーススタディ ・ 行政改革の質問を16年してきました。これからの質問の考え方 ・ 質問や議会活動で自治体をどう導いていくか
効果・成果等	まず、研修内容の所感は期数の浅い議員に対しての受講内容でありましたが、理解しているようで成程といった気付きを得ることができました。改めて、基本を忠実に積み上げていかなければならないと猛省します。今後の議員活動において、自治体をどう導いていくのかという視点で質問質疑、調査、研究をし、市議会の発展に繋がるよう今一度研鑽を図りながら今後の活動に活かして参ります。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

率直に語る地方議員に関するお金の考え方



2020年1月20日 in 大阪

2020年2月14日 in 博多

講師 高橋伸介

ポイント

○地方議員報酬・議員定数・政務活動費・年金問題を正面から考える

- ・活動原点として直接選挙による4年間の仕事と、議会内、行政内における環境醸成の必要性
- ・政務活動費が絡む事件を分析してみる
- ・2014年6月に発覚した兵庫県議野々村氏の事件を掘り下げて考える
- ・政務活動費を先払いから後払いへ、同時にネットでの公開を進める
- ・政務活動費、枚方市議会の流れ
- ・政務活動費月額1万円以下の今後の処遇
- ・京都市会政務活動費運用基準の説明
- ・基準は裁判結果で変わらざるを得ないときがある。但し、裁判官も地方政治に精通しているとは限らない
- ・議員報酬については特別職非常勤の性格から地方自治法203条の変遷を深読みする
- ・議員活動、議会活動、政治活動、選挙活動の言葉の定義を熟考し違いを説明できるようにする
- ・三重県議会の取り組みを参考にする
- ・類似団体横並びから、その議会にあった独自の基準作りへ
- ・議員定数については「会議」に必要な人員から定数を検討する
- ・大森 彌氏、江藤俊昭氏の考え方から必要な人員を考える
- ・議員年金については厚生年金案を元に議員の活動実態を検証する
- ・集約化・多様化の流れとして町村議員の兼業制限緩和の流れも

質問方法スキルアップ研修 初級編



2020年1月21日 in 大阪

2020年2月15日 in 博多

講師 高橋伸介

ポイント

○議会質問の基礎基本と行政が「なるほど」と思うポイントについて

- ・活動原点として直接選挙による4年間の仕事と、議会内、行政内における環境醸成の必要性
- ・理事者席に座っている25年以上の行政のベテランが相手であるという認識を持つ
- ・標準議会会議規則と当該議会会議規則を理解する・・・ほとんど同じの事が多い
- ・議会基本条例で変わるところ
- ・議会質問における一般質問と議会質疑の違いを徹底的に理解する
- ・運用上、常任委員会質疑ではレンジを広く運用している議会が大半
- ・質問スタイルをレベル1からレベル4まで4つに分類し説明
- ・質問に先立ちヒアリングの重要性 質問貯金箱を作る
- ・執行部や職員の方がより多くの情報を持っている どう引き出すか
- ・可能な部分は執行部と調整を図る パイアスをかけないよう心がける
- ・重要な質問は角度を変え議会ごととに質問を行う 個人で行う波状型と会派内でのリリース式
- ・リソース RESAS (Regional Economy (and) Society Analyzing System) の可能性
- ・市長を3つに分類し質問スタイルを変えてみる
- ・執行部から一般質問に求められるものを考える
- ・調査なくして発言権なしと心得る
- ・議会運営に当って「禁止」されていなければ「独自の解釈」で行う
- ・日本国憲法第92条「地方自治の本旨」を再考する

質問方法スキルアップ研修 応用編



2020年1月21日 in 大阪

2020年2月15日 in 博多

講師 高橋伸介

ポイント

○より執行部に対して有効な質問の仕方とは

- ・理事者席に座っている25年以上の行政のベテランが相手
- ・活動原点として直接選挙による4年間の仕事と議会内、行政内における環境醸成の必要性
- ・初級編のおさらいとして議会質問の基礎基本を確認
- ・新規事業立ち上げに学ぶ質問骨子の作り方
- ・あらゆる「やり方」(質問作成)にも通用するPDCAサイクル
- ・議会運営はPDDCAサイクルの流れ、質問作成にも応用
- ・財政破綻寸前の自治体が議会質問をテコに行財政改革を進めた例
- ・今後の議会活動を見据え「反対」を「指摘・改善」に留め、「賛成」することも考える
- ・首長側から議会へ仕掛けられた例
- ・福祉増進を目標とする選択と集中に関する質問
- ・戦略的に重要なものとそうでないものに対するファシリテイマネジメント系の質問
- ・事務事業精査を質問に生かす
- ・人口減少少子高齢化時代の質問の注意点
- ・リソース RESAS (Regional Economy (and) Society Analyzing System) による見える化
- ・優秀な市長からみた、良い質問について「なるほど」と感じさせる
- ・議会質問に正解なし、よりマシな方向へ合議を尽くす

竹原市収受
竹原市第 号
01.6.28
延滞期間 月 日
分割番号

議長	副議長	局長	局長補佐	係長	局員
					

資料様式第 3 号

令和元年 6 月 28 日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 竹橋 和彦



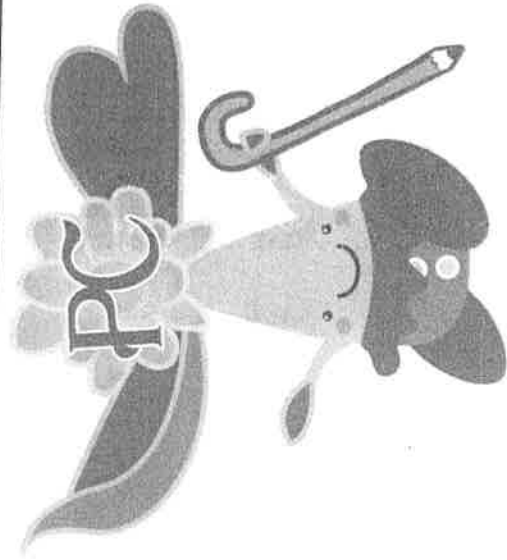
視察・調査場	広島市南区金屋町 1-17 ワークピア広島
期 日	令和元年 6 月 3 日
経 費	18,560 円
参加者氏名	竹橋 和彦
視察・調査的目 的	地方議員研究会主催 教育行政基礎講座 講師 水野 達朗
内 容 (視察先の 現状、竹原 市との比較 等)	<p>教育行政基礎講座② 「学校における働き方改革」の要点と解説</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、学校に求められる働き方改革が求められる背景 2、学校における働き方改革の概要 3、チーム学校とは 4、多忙化解消のための学校マネジメントと ITC 化に論点整理 <p>学校を取り巻く社会状況の変化、長時間勤務の増加による教師の疲弊子どもにためであればどんな長時間勤務も良しとする働き方の中で、多くの教師が疲弊してきている。学校における働き方改革の目的は、これまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるようにすること。また、ガイドラインの順守にとらわれるのではなく、子どものためならいくらかでも時間をかけるのが良い教師という学校現場に意識を変えていく。</p>
効果・成果等	<p>学校の現状は様々な背景があることや教師自身が業務を行う中で、自らが負担と負担感を感じ取れていない部分がある。そもそも本来教師が行うべき業務なのか、教師以外でも可能な業務なのか、学校以外ができる業務や家庭がするべき業務等を抱えこんでいる現状がある。本市の学校現場も同様と思われるが、そもそも教師が行うべき業務とそれ以外の業務を仕分けし、他の業務はそれぞれの業務を分担することが求められる。そこには、「チーム医療」的な専門性のある人配が必要とされ、予算措置において大きな課題となるとと思われる。学校の働き方改革を改正法の下、取り組むに当たり本市においても、同様の課題があるが、リスト化し項目ごとに課題解決に向け調査、研究、検証していかなければならない。</p>

※ 実施後 1 ヶ月以内に報告する。

地方議員研究会 主催

教育行政基礎講座②

「学校における働き方改革」の要点と解説
～教育現場の最新議論をおさえよう～



講師：水野達朗

(家庭教育支援センターペアレンツキャンプ代表理事)